

～下田のデキゴト～



12/21 第2回防災講演会の開催

第2回防災講演会「軍師に学ぶ 防災の心得」を開催しました。元熊本県危機管理防災企画監の^{ありうらたかし}有浦 隆氏をお招きし、熊本地震で災害対応の責任者として陣頭指揮をとった実体験をもとに防災の心得を学びました。



1/11-12 早春の下田を歩き始め！

下田水仙ツーデーマーチが開催されました。全国から集まった延べ623名のウォーカーが、11日に水仙の咲き誇る爪木崎を楽しむコース、12日に吉田松陰先生の歴史を学ぶコースを歩き下田を満喫しました。



1/19 タスキに思いを込めて走り抜けた6区間

第53回下田・河津間駅伝競走大会が行われました。全36チームが激走を繰り広げ、各部門の優勝は、一般男子「フリーダム」、中学男子・女子「下田中学校」、高校男子「稲取高校」、一般・高校女子「下田高校陸上部」でした。

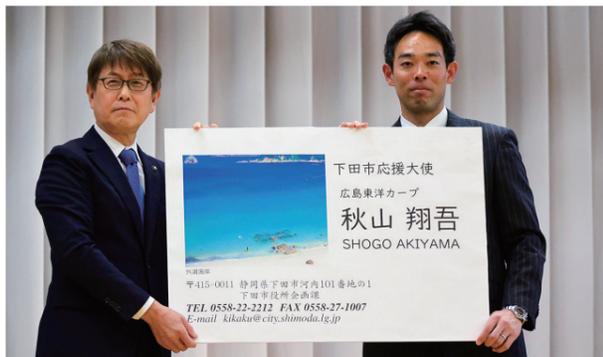
1月の
できごと

7日	市内小中学校始業式
12日	二十歳の集い
15日	寿大学



1/4 消防団出初式

消防団出初式が下田小学校体育館にて行われました。団員143名の参加のもと、市長祝辞、団長訓示、各種表彰等が行われ、団員の士気高揚が図られました。乾燥するこの季節、火の元には十分に気を付けましょう。



1/13 秋山翔吾選手が下田市の応援大使に！

広島東洋カープ所属の秋山翔吾選手（プロ野球）が下田市応援大使を委嘱しました。少年野球の児童たちを対象にトークショーも開催され、終了後には記念撮影が行われるなど、交流を深めていました。



1/21 社明運動作文コンテスト受賞報告

第74回「社会を明るくする運動」作文コンテストで、^{なかのけいた}中野敬太さん（浜崎小6年）が静岡県推進委員会委員長（^{すずきはのか}県知事）賞最優秀賞を、^{すずきはのか}鈴木穂香さん（稲梓小6年）が静岡県校長会会長賞特別賞を受賞されました。

17日	認知症カフェ～脳トレ体験及び個別相談会～
18日	海保フェスタ
25日	下田わくわくパークこれば！

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



3月の予定

- 1日(土) 開館日
- 3日(月) ひなまつりの会
- 5日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 7日(金) わくわくタイム
- 10日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター
- 12日(水) あひるルーム うさぎルーム
9時～11時30分
- 14日(金) 敷根公園で遊ぼう
- 15日(土) 開館日
「まっちゃんと遊ぼう」10時～11時30分
講師：^{まちだひろし}町田浩志
場所：市民スポーツセンター
- 17日(月) 誕生会
- 24日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 28日(金) わくわくタイム
- 31日(月) 閉館（年度末事務整理日）



誕生会



あかちゃんとのふれあいタイム

立春も過ぎ、木々の芽も春の準備を始めているようです。子育て支援センターの花壇のチューリップの球根は芽を出し、春を心待ちにしています。この時期は体調管理が難しいので、手洗い・栄養・睡眠で元気に過ごせるようにしていきましょう。支援センターでは、換気や消毒をして衛生的で安全な環境を作り、皆さまをお待ちしています。



おたのしみパフォーマンス



ふれあい遊び

こんにちは、教育長です
～天城越え～

「隠しきれない移り香がいつしかあなたにしみついた」これは石川さゆりさんの「天城越え」。「私をはじめて天城を越えたのは三十数年昔になる」これは松本清張の「天城越え」の冒頭。「道がつづら折りになつて、いよいよ天城峠に近づいたと思うころ」これはご存じの川端康成「伊豆の踊子」の冒頭ですね。私も野鳥の捕獲・飼育が許可されていたころ（30～40年も昔になりました）は、毎週末鳥もちと団（おとり）、弁当を抱え、天城隧道をくぐり天城山に出かけたものです。中学生時代は遠足で八丁池に出かけ、教師時代は生徒を引率して遠足定番の天城縦走。八丁池がとて広く感じられ、巨木「太郎杉」に圧倒されたことなどは、今でも鮮明な記憶として残ります。自然豊かな景観の継承、経済、商業、歴史、文化、そこから生まれた数々の作家、文学作品など、伊豆の玄関口から半島、伊豆南が天城山隧道（旧天城トンネル）から受けた恩恵は計り知れません。

今、伊豆縦貫自動車道の開通

に向け工事が進められています。完成により伊豆半島が、そしてここ下田がどう姿を変えていくのか楽しみでなりません。その昔は天城山中には獣道の他には道らしい道はなく、天城山を貫くトンネルの開通などは想像の域を超えていました。ところが、数々の文献、当時の新聞記事等によると、明治の時代に県議として地元下田から当選した矢田部強一郎氏の並々ならぬ尽力によって天城山隧道開通が実現したという記録が残されています。そこには街道の開通に加え、稲生沢川の灌漑用水、賀茂地域に広めた養蚕業など、強一郎氏の功績が讃えられています。その功績を後世に伝えるべく、令和6年6月2日、天城山隧道開通の顕彰碑が、河内志戸橋を渡って程ないご子孫矢田部さん宅の敷地一角に建立されました。碑の陶板には、強一郎氏の足跡が隧道の風景と共に刻まれています。伊豆縦貫自動車道の前世の様子を伺いに、ちょっと足を運んでみてはいかがでしょうか。